

○平成 25 年度 政策形成実践研究について

研究テーマ	若者の社会参画 ※「新しい公共」分野から研究員が自ら選定
期間	平成 25 年 6 月 24 日～平成 26 年 1 月 31 日（計 13 回）
修了者	8 人（相模原市、茅ヶ崎市、大和市、伊勢原市、綾瀬市、葉山町、開成町、センター職員）
アドバイザー	相模女子大学人間社会学部 教授 松下 啓一氏
研究の概要	<p>平成 25 年度は、若者が社会に目を向けず、社会参画しない状況を放置することで生じる諸問題を取り上げ、「若者の社会参画」をテーマとして研究を進めた。</p> <p>研究報告書では、若者の社会参画の状況を、投票率や意識調査などを用い分析するとともに、神奈川県内市町村における状況をアンケート調査した。また、海外や先進的な取り組みを行っている自治体の事例についても調査を行った。</p> <p>それらの情報を基にし、若者の社会参画のための「仕組みづくりの基本理念」「関係者とその役割」「若者の社会参画施策体系」「具体的施策」について提言を行った。</p>
報告書目次	<p>第 1 章 本研究の意義・構成</p> <p>第 2 章 現状と課題</p> <p>第 3 章 海外・国の施策</p> <p>第 4 章 先進事例研究</p> <p>第 5 章 新しい仕組みづくりの提案</p> <p>第 6 章 若者の社会参画施策を進めるために</p>